とっとり しまね おかやま ひろしま やまぐち
コープCSネット 便り
中国・四国
とくしま かがわ えひめ こうち
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報
第42号
発行
2015年11月25日
通巻42号

CO-OP 9生協の夢広がるネットワーク

第12回 仲間づくり研修会を開催！（宅配事業支援室主催）

日時:2015年9月3日(木)・4日(金)　場所:鳥取県鳥取市

第12回
仲間づくり研修会を
鳥取県鳥取市で開催し、
6生協から28名の研修生の
参加がありました。

2015年度 開発商品・品質管理研修会

日時:2015年9月24日(木)　13:00～16:30
場所:広島市東区民文化センターホール
参加:121社220名

コープCSネット独自開発商品

10種の具材を使った焼ビーフン（ちゃんぽん味）180g×2がデビュー！

CONTENTS

ページ
2 3 商品開発委員会
4 もずく基金 産地交流会及び基金状況
5 重点商品試食学習会 開催
6 7 コープCSネット トピックス
8 おかやまコープ、鳥取県生協の生協まつり開催 等

6月よりスタート！ 商品開発委員会

コープCSネットは、10月で設立10周年を迎えました。

この10年間にコープCSネット独自開発商品は統廃合を繰り返し、多くの組合員さんの支持を得て100品目を超えるまでに成長しています。

今年は従来の商品開発に加え、組合員さんが最初の段階から直接関わっていく商品開発をプラスしていくプロジェクトを進めています。具体的には新たに『商品開発委員会』を設け、中国地区5会員生協の組合員さん参加による商品開発に着手しています。

【組合員さんの声が『生きている』商品開発を目指して】

従来の商品開発では、コープCSネットの職員が主体となり取引先と試作品を作り、組合員モニター等で会員生協の組合員さんのご意見を聞きながら開発を進めていきました。

今回目標に掲げた組合員さんの声が『生きている』商品開発では、『商品開発委員会』を立ち上げ、試作品を作る前の段階から中国地区5会員生協の組合員さんに積極的に参加して頂き、商品開発を行います。組合員さんが大切にしている『価値』を探し、食事づくりの実態と背景にある様々な『思い』を大切にし、組合員さんのくらしにある『願い』を抽出し、商品コンセプト案や商品イメージ案を創造して、開発商品を選定していきます。

つまり、組合員さんの思いを商品化していく委員会です。

6月にスタートした『商品開発委員会』は、10月末の時点で3回開催しました。

今は、組合員さんの普段のくらしの中での「思い」や「コト」を集めて、商品、つまり「モノ」イメージを一致させる作業を行っています。組合員さんの「思い」が形になりつつあります。

第1回 商品開発委員会（6月30日）では・・・『思い』を出し合いました

マーケティングリサーチ会社の協力を得て、
①生協の商品で気に入っているものは?なぜ?
②生協の商品であったらいいものは?それはなぜ?
という2つのテーマで組合員さんの暮らしの願いや商品に対する要望の聞き込みをしました。

特に大切にしたい思いをまとめます。
約400件の組合員さんの声が集まり、
「思い」を7つのグループに分類しました。

思いを文字にしていくことで、
思いが形のあるものに。

第2回 商品開発委員会（8月18日）では・・・『商品開発の進め方』について話し合いました

取引先を訪問し、その会社の商品開発の考え方をお聞きしました。

昼食は取引先の開発商品を使ったオムライスを作りました。皆で何かをするという事が大切ですね 。

第1回商品開発委員会で出た約400件の組合員さんの声、13のグループに分けて、それぞれの今の組合員さんの食事に関する『暮らしの願い』を導き出していきました。

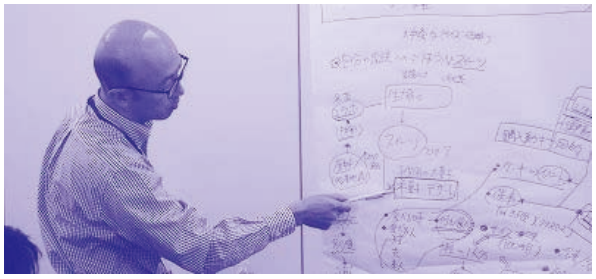
導き出された『暮らしの願い』ごとの『解決策=暮らしの願いに応える価値=ベネフィット』を考察していきました。
これらが商品コンセプトとなり商品候補となっていきます。

第3回 商品開発委員会（10月15日）では…『暮らしの願い』『組合員さんが大切にしている価値』をまとめました

商品を使う側・料理を作る人の
気持ちをイメージしながら、昼食をみんなで作ってみます。

3グループそれぞれテーマを決めて、イメージを作っていきます。

【テーマ】
夕食のおかず
スープ・汁もの
デザート



商品コンセプトを明確にするために、会員生協で話合うテーマや方向性を発表します。

11月24日 第4回商品開発委員会では、商品開発が本格始動!!

製造メーカー選定、試作、モニター、学習会、広報を行っていく中で組合員さんの共感を広め、2016年度の春と秋を目標に2、3商品のデビューを目指します！

【商品開発課　熊谷統括課長より】

一般的には「商品アイデア創造」には左記の点が必要であると言われています。

①開発商品の生活背景
②ターゲット（誰が、どの世代が）
③オケージョン（使用する場面、時、機会）
④ベネフィット（使用する事で得られるもの、利益、意思）
⑤どのような商品か（商品特徴）
⑥商品属性（形状・機能・成分・容量・価格など）

今回の組合員参加による商品開発では、特に④**ベネフィット**に着目し、ターゲットは組合員さんとします。より多くの組合員さんに利用して頂く視点です。

マーケティング用語における**ベネフィット**とは、お客さんが商品を購入して得られるメリットです。例えば、ゴルフショップの店員はゴルフクラブを売りますが、お客さんが買っているのはクラブと共に**ナイスショット**を買っています。すなわちベネフィットとは商品そのものではなく商品から得られるメリットと言う事が出来ます。

それは多くの場合、課題や悩みに対する解決策です（ｅｘ.コープＣＳネット独自開発商品「やわらか酢豚セット」を利用すると簡単に手早く甘酢あんの味付けができて、家族に野菜を食べさせることができます）。

そしてこのベネフィットは有効な商品情報（ｅｘ.日本生協連コープ商品「ミックスキャロット」とケチャップとオイスターソースでおいしいパスタソースができます）にもなると思います。

「もずく基金」5年間でサンゴの移植本数は約3,490本に!

「もずく基金」は沖縄の海を守る活動

コープCSネット独自開発商品「恩納村産　味付太もずく」をはじめとする「もずく」の産地は、沖縄県恩納村です。恩納村には沖縄県を代表する典型的なサンゴ礁海域（沖縄海岸国定公園）があります。沖縄県恩納村のサンゴ礁は、1998年と2001年の海水温の上昇により、大きなダメージ（白化現象と呼ばれるサンゴの死滅）を受けました。サンゴ礁は海洋生物へ住処と食べ物を提供しており、海洋種の約25%はサンゴ礁に頼って生活しています。

サンゴ礁の死滅は、海の生態系にとっても深刻なダメージを与えます。「もずく」の生産者団体である恩納村漁業協同組合は漁業活動と並行して、沖縄の海の生態系を守っています。

コープCSネットもその取組みに協賛して2010年より「もずく基金」の活動を始めました。

もずく基金は今年で5周年

中国地区5会員生協とコープかがわの組合員さんが参加し、「もずく基金」対象商品を購入した時の売り上げの一部を基金として積み立てています。集まった基金は、恩納村のサンゴ礁再生事業に役立てています。今年は、5周年を記念して5年間の活動をまとめたDVDを製作しました。

「もずく基金」は5年間で990万円を超え、移植本数は約3,490本になりました。昨年（2014年）には、2010年に植え付けたサンゴが親サンゴになり初めて産卵をし「もずく基金」の成果が目に見える形になりました。

8月には「もずく基金」産地見学・生産者交流会を開催

夏休みを利用し会員生協の組合員親子に参加して頂く「産地見学・生産者交流会」も5回目を迎えました。今年は恩納村に連泊し、恩納村漁協・生産者との交流をさらに広げました。「もずく」を利用することが環境保全に役立ち、サンゴ台にメッセージを書くことでサンゴが海の生態系に大きな役割を果たすことやサンゴ礁保全の意義を実感しました。また、もずく加工場で選別（砂や小エビなどの異物をもずくから取り除く作業）体験では、コープ商品になって私たちに届くまでに、多くの人の手で非常に細かい作業がされていることを実感しました。

恩納村の干潟で海の生きもの観察を行なうことやシュノーケリングやグラスボードで海洋生物を観察し、さらに水族館で海洋生物を復習することで、沖縄の海が「もずく」や「サンゴ」だけでなく多くの生き物を育んでいることを改めて感じ、生態系や環境を守る活動の大切さを理解しました。

夏の「産地見学・生産者交流会」は、組合員親子に参加して頂くことで、次世代につなげていく活動と位置付けています。

干潟での海の生き物観察

学習会の様子

サンゴの養殖場での見学

2015年度　基金報告

2015年4月から9月までの基金額は **1,215,803** 円となりました。（基金前年比 103.5%）

2015年度 第2回重点商品試食学習会

日時：2015年9月28日(月)
10：30～16：00
場所：おかやまコープ オルガホール
参加：中国地区5会員生協職員 69名

2007年度下期より開催している試食学習会も、16回目の開催になりました。会員生協の皆さんの積極的な参加や多くのお取引先のご協力もあり、重点商品や開発商品の試食を伴う知識向上の場として定着しています。2015年度秋季の試食学習会は、年末重点商品を主体に試食学習を進めました。

水産ブースで数の子の食べ比べを行い、商品特長を学習する様子

前半の個別商品の学習では、取引先20社にご協力頂き、会員生協でブースごとに学習試食を進めました。後半は、おせち料理を製造している株式会社一ツ葉フーズ　有岡様よりおせち料理の謂われや製造方法について報告がありました。その後、各グループに分かれ「おせち」をテーマに、昨年度の成功事例を交流し、より効果的な取り組み等を議論しました。参加者は学んだ内容を各生協に持ち帰り、今年度の取り組みにつなげていきます。

今年のおせち料理のラインナップ

■試食学習した商品とご協力頂いた取引先

	試食学習した商品	ご協力頂いた取引先
水産	淡塩さば	株式会社　井ゲタ竹内
	生ずわいがに肩(1kg)	株式会社コ・ジャスナ
	数の子	日本生活協同組合連合会・株式会社シーサット・北海道漁業協同組合連合会
	有頭えび(ブラックタイガー)212g(8尾)	株式会社シーサット
	天然ぶり切身(徳用)640g(8切)	株式会社シーサット
	天然ぶり照焼用(徳用)480g(8切)	株式会社シーサット
畜産	産直牛(鳥取)	鳥取県畜産農業協同組合
	つるい牛(島根・広島・山口)	JA全農ミートフーズ株式会社
	おかやま牛(岡山)	株式会社イサミ
	京鴨合鴨鍋セット	株式会社ビンショク
	岩手あい鴨鍋セット	株式会社アマタケ
	CO　コクと旨みの牛肉やわらか煮込み	日本生活協同組合連合会
日配	CO　お肉がおいしいミニ水餃子	日本生活協同組合連合会
	CS　鯛入り迎春蒲鉾紅白セット	フジミツ株式会社
	CO　甘さひかえめ伊達巻	日本生活協同組合連合会
	CO　国産栗となめらか芋あんの栗きんとん	日本生活協同組合連合会
	タカキ　レーズン&くるみロール(CSオリジナル)	株式会社タカキベーカリー
	タカキ　平焼きお豆パン　(CSオリジナル)	株式会社タカキベーカリー
ドライ	スープ各種　4品	日本生活協同組合連合会・東洋水産株式会社・他
	切り餅・丸餅	日本生活協同組合連合会・佐藤食品工業株式会社
	ドライパック各種	日本生活協同組合連合会・トーアス株式会社
	味一番各種　5品	日本生活協同組合連合会・ユタカフーズ株式会社
ギフト・IT課	おせち	株式会社一ツ葉フーズ
	おせち	石井食品株式会社
	クリスマスケーキ	株式会社タカキベーカリー
	クリスマスケーキ	大山乳業農業協同組合
	冬ギフト	日本生活協同組合連合会

各グループでの成功事例交流の様子

株式会社一ツ葉フーズ　有岡様によるご報告

コープCSネット　トピックス

トピックス1　チラシセットセンター移転

中国地区会員生協別商品案内チラシの個人別セットをコープCSネットが行うようになったのは、設立の年2005年のことです。開始から10年。組合員さんの暮らしも大きく変わり、求められるチラシも変化してきています。それに対応する為、2015年8月にチラシセットセンターを広島県東広島市から広島県福山市神辺に移転しました。新しいセットセンターでは、チラシのセット枠を拡充し、最大22枠のチラシセットが可能です。会員生協セットは11枠、コープCSネットは11枠のチラシセット。チラシセット枠の拡大により、組合員さんへのより細かい情報提供が可能になりました。

チラシセットセンターの様子

【OCR注文書】や【チラシ】のお届け形態も変更しました!

①袋の開口部のビニールを重ねました。
②お届表を裏向きにセットしました。
③OCR注文書を2つ折りにしてコンパクトにしました。

トピックス2　第19回重点商品学習交流会（主催:非食品・味彩商品事業本部）

日時:2015年8月7日(金) 10:20～16:00
場所:オルガホール
（岡山市北区　おかやまコープ本部内）

「学んで、活かして、確信へ　～交流から創りだす実践～」をテーマに中国地区四国地区9会員生協の供給促進活動を推進する約85名の職員が参加し、非食品の下期の重点商品について学び、報告・交流を行いました。
学習商品:COフリーリアシリーズ、羽毛ふとん、スクワビューティ、
ブレスサーモ、消火器、ゴキブリキャップ

ブースでの学習の様子。
商品学習の後、質疑が活発に交わされました。

表彰された上期優秀者

分散会
9月1回「フリーリア成功のカギ」について報告がありました。
全体での意思統一の結果、キャンペーンは昨年の1.5倍の
供給高で有終の美を飾りました。

トピックス3　2015年第1回 組合員理事懇談会

日時:2015年9月10日(木) 11:00～15:00
場所:第1セントラルビル2号館5階　小会議室

当日の内容

【報告①】8月までのまとめと下期課題
【報告②】8月までの事業報告
【交流①】会員生協からの組合員の声について
【交流②】下期非食品重点学習会商品紹介
ミニ学習会:ブレスサーモ関連

ブレスサーモ　商品学習の様子

中国地区四国地区の9生協の組合員理事の皆さんにお集まり頂き、コープCSネットの経営状況や課題を報告しました。午後からは、取引先より講師を招き下期重点商品の商品学習会を行いました。商品学習を理事懇談会で行うのは初めての取組みでしたが、理事の皆さんからは今後も続けて欲しいという感想を頂きました。

トピックス4　第12回　仲間づくり研修会を開催!（宅配事業支援室主催）

日程:2015年9月3日(木)・4日(金) 1泊2日
場所:鳥取県鳥取市

第12回仲間づくり研修会を鳥取県鳥取市で開催し、中国四国6会員生協から28名の研修生の参加がありました。今回は1泊2日の日程で、2日間で延べ1,351軒のお宅を訪問しました。

購買生協は組合員が商品を利用することで成り立っています。仲間づくりは、まだ生協のことを知らない一般消費者に生協を知って頂いて「加入」して頂く活動のことです。いうなれば、生協と一般消費者を結び付ける架け橋のような存在です。

「おすすめトーク」作成の様子

「おすすめトーク」を基に実践練習をします

一般消費者と生協を最初に結び付ける「仲間づくり」ですが、個人が個別に活動することが多く自己流になりがちです。一般消費者の方に生協の事業活動を均一にお知らせすることができ、且つ会員生協の活動に貢献するために、この仲間づくり研修会はスタートしました。

今回の研修会では、相手の要望を聞き取る技術を磨くことや商品のお勧めトーク以外に、利用者の利便性を高める「eふれんず(インターネット注文)」や「たすけあい共済」をお勧めトークに組み込み、「仲間づくり」をすすめました。今回は、お互いの活動を客観的に見るため、2人1組でお宅を訪問し8名の加入(再訪問含)がありました。

お宅訪問の後、「おすすめトーク」の良かったところ、悪かったところを出して、「おすすめトーク」の精査をします

トピックス5　2015年度　開発商品・品質管理研修会

日時:2015年9月24日(木) 13:00～16:30
場所:広島市東区民文化センターホール
参加:121社220名

『食品表示法』について講演する消費者庁 細江 佳代子氏

開発商品・品質管理研修会は、コープCSネット独自開発商品及び会員生協PB商品を製造しているメーカーやベンダー(問屋)、畜産産直品の生産団体を対象とした品質管理の研修会で、年1回開催しています。

コープCSネットからは品質保証部の職員だけでなく、食品関係のバイヤーも参加することで、取引先とコープCSネットの商品品質レベルや衛生管理の目線を一致させています。

今年は消費者庁から講師を招き、2015年4月1日に施行された『食品表示法』をより深く理解するために「食品表示基準について」というテーマでご講演頂きました。

また、広島検疫所からも講師を招き、輸入食品の安全性を水際で監視する検疫所の業務について「輸入食品の安全性確保について」というテーマでご講演頂きました。

トピックス6　新商品のお知らせ

商品名:10種の具材を使った焼ビーフン　(ちゃんぽん味)
発売:2015年10月4回
規格:180g×2
通常価格:税抜498円(税込537円)

原材料:野菜(緑豆もやし、キャベツ、たまねぎ、白菜、ごぼう、にんじん、ほうれん草、コーン)、ビーフン、植物油脂(なたね油、ごま油)、さつま揚げ、ポークエキス、かに風味かまぼこ、ホタテエキス、しょうゆ、食塩、チキンエキス、油脂調整粉末、酵母エキス、ガーリックパウダー、こしょう、調味料(アミノ酸、有機酸、核酸)、乳化剤(植物レシチン)、香料、貝殻焼成Ca、ベニコウジ色素、甘味料(キシロース)、(原材料の一部に卵、小麦、乳成分、かに、大豆、ゼラチンを含む)
アレルギー物質(特定原材料):卵、乳、小麦、かに

2015年10月にコープCSネット独自開発商品「10種の具材を使った焼ビーフン(ちゃんぽん味)180g×2」を発売しました!

商品特長
幅広い世代に人気の「ちゃんぽん味」の焼ビーフンです。
キャベツや玉ねぎなど10種の具入りで、食べごたえも充分!
汁なしなのでお弁当にもおすすめです。

今年も各地で生協まつり開催!

【おかやまコープ】　2万人が来場!

2015年9月26日(土)、コンベックス岡山(岡山市北区)で「コープフェスタ2015」が開催されました。「コープフェスタ」は、来場者と、商品の生産者・メーカーの方々、組合員・職員が交流する、“食”を中心としたイベントです。今年は約130団体が出展しました。

コープ商品や産直商品の試食販売を行なうブースでは、おかやまコープこだわりの商品を味わい、交流する姿が見られました。　また、会場内スタンプラリーや「C*コレ商品(=コープならではの商品)」の人気投票、「食育」「里海・里山環境」「国際協力支援」「震災復興応援」などのコーナーも設けられました。

【鳥取県生協】　鳥取県生協連 第23回　せいきょうまつりを開催!

2015年10月25日(日)、北栄町お台場公園(鳥取県東伯郡北栄町)で、鳥取県生協連主催「第23回　せいきょうまつり」が開催され、鳥取県生協をはじめとする鳥取県内の6生協と取引先あわせて、約80団体が出展しました。当日は天候にも恵まれ3,000人の来場者があり、コープ商品や試食販売を行うブースやステージイベントでは多くの組合員さんで賑わいました。

コープかがわで化粧品学習会を開催!

日時:2015年10月22日(木)　10:00～12:30
会場:コープ観音寺(香川県観音寺市)

10月22日(木)コープ観音寺で、コープ化粧品をはじめとした化粧品の学習会を開催しました。取引先5社に協力頂き、当日は約40名の組合員さんに参加頂きました。

学習会では、最初に生協で扱う化粧品の概要説明をした後、5社それぞれのブースに分かれ、1ブース約20分を目安に席を移動して学習を進める方式で行いました。参加した組合員さんは、熱心に商品説明に耳を傾け、質問を繰り返されていました。

概要説明をするコープCSネット長房バイヤー

実際に化粧品を手につけてみて使用感を確かめます

各ブースに分かれての学習会の様子

「コープのおいしめし」5周年記念特別番組放送のお知らせ

「コープのおいしめし」(中国地方4局　毎週月曜日11:25～11:30)は、宅配事業で企画している商品をメイン食材にした、簡単で美味しい料理を紹介する番組です。

「コープのおいしめし」では、夏と冬に30分間の特別番組を放送しています。**今年は、2015年11月30日(月)に特別番組を放送することが決まりました。**

今回は、日本を飛び出しイタリアで、美味しいイタリアの家庭料理を紹介します。

【放送日】
2015年11月30日(月)
【放送時間】
日本海テレビ(鳥取・島根)、広島テレビ(広島)　10:25～10:55
西日本放送(岡山)、山口放送(山口)　10:55～11:25
＊特別番組放送後11:25～11:30は、レギュラー番組を放送します。
【ホームページでの動画公開】
放送後に動画(番組ダイジェスト版)を コープCSネット ホームページで公開します。
http://www.csnet.coop/

東日本大震災 支援金報告

想いを届けよう 東日本へ

2015年積立金総額は7,852,857円となりました

集まった積立金は、中国地区5会員生協に振り分けます。2015年度の復興支援金の用途(復興支援団体への援助、被災者とのつながり応援や、被災地の産業復興の為の販売支援など)は、会員生協で決定されます。

コープCSネットでは、東日本大震災で被災された生協・団体とメーカー・生産者にお届けする「復興支援金」として、2015年4月1回～2015年9月4回までの対象商品の供給代金の一部を積み立ててまいりました。

2015年の対象案内チラシ
HelloCoop、CIEL、eats、CO-PAL、ここくる

対象商品　コープCSネット独自開発商品、コープCSネットオリジナル商品

このマークが付いています↑

発行:2015年11月25日・通巻42号　発行責任者:小泉信司　発行事務局:総合企画室
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合　〒732-8504 広島県広島市東区二葉の里1丁目1-46　TEL:082-236-6800

R100 VEGETABLE OIL INK 植物油インキを使用しています。